

2008年度

科目名 教科教育法特論	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 金川 廣一郎																														
授業テーマ 国語科の授業づくりについて基本的な考え方や具体的な方法を実践によって学ぶ																																
授業の概要と目標 実践的指導力をつけることを第一の目的とする。 1. 授業や教材分析の基礎となる理論を学ぶ 2. 授業の組み立て方や具体的な手立てなどを、指導案の作成から学ぶ 3. 模擬授業を通して、指導技術の向上と授業の見方について学ぶ																																
評価方法 ①出席状況や提出物 ②各活動への参加状況などによって評価する。																																
テキスト 適宜、資料を配付する。	著者	出版社																														
参考書 講義時に随時指示する。	著者	出版社																														
授業スケジュール・内容 <table> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>講義の進め方、国語科の歴史</td> </tr> <tr> <td>2. 授業づくりと教材研究について</td> <td>国語科の特性、授業の組み立て、教材の見方、領域の関連</td> </tr> <tr> <td>3. 授業づくりと教材研究について</td> <td>児童のとらえ方、学習指導案の形式、指導上の手立ての発想</td> </tr> <tr> <td>4. 演習① 教材研究</td> <td>物語文教材の研究、教材理解と分析</td> </tr> <tr> <td>5. 演習② 教材研究</td> <td>説明文教材の研究、教材理解と分析</td> </tr> <tr> <td>6. 演習③ 授業設計</td> <td>板書計画、発問・助言・指示、作業の設定などの検討</td> </tr> <tr> <td>7. 演習④ 授業設計</td> <td>指導案・細案・掲示物・配布物・評価などの検討</td> </tr> <tr> <td>8. 演習⑤ 模擬授業</td> <td>模擬授業と検討会</td> </tr> <tr> <td>9. 授業評価</td> <td>授業の分析方法と活動の設定</td> </tr> <tr> <td>10. 演習⑥ 模擬授業</td> <td>模擬授業と討議会</td> </tr> <tr> <td>11. 「実践アクセス講義」(ゲスト・ティーチャー) 現職の先生による講義「学習集団の形成について」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. 演習⑦ 模擬授業</td> <td>模擬授業と討議会</td> </tr> <tr> <td>13. 演習⑧ 模擬授業</td> <td>模擬授業と討議会</td> </tr> <tr> <td>14. 演習⑨ 模擬授業</td> <td>模擬授業と討議会</td> </tr> <tr> <td>15. まとめ</td> <td>作成した資料を振り返って</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション	講義の進め方、国語科の歴史	2. 授業づくりと教材研究について	国語科の特性、授業の組み立て、教材の見方、領域の関連	3. 授業づくりと教材研究について	児童のとらえ方、学習指導案の形式、指導上の手立ての発想	4. 演習① 教材研究	物語文教材の研究、教材理解と分析	5. 演習② 教材研究	説明文教材の研究、教材理解と分析	6. 演習③ 授業設計	板書計画、発問・助言・指示、作業の設定などの検討	7. 演習④ 授業設計	指導案・細案・掲示物・配布物・評価などの検討	8. 演習⑤ 模擬授業	模擬授業と検討会	9. 授業評価	授業の分析方法と活動の設定	10. 演習⑥ 模擬授業	模擬授業と討議会	11. 「実践アクセス講義」(ゲスト・ティーチャー) 現職の先生による講義「学習集団の形成について」		12. 演習⑦ 模擬授業	模擬授業と討議会	13. 演習⑧ 模擬授業	模擬授業と討議会	14. 演習⑨ 模擬授業	模擬授業と討議会	15. まとめ	作成した資料を振り返って
1. オリエンテーション	講義の進め方、国語科の歴史																															
2. 授業づくりと教材研究について	国語科の特性、授業の組み立て、教材の見方、領域の関連																															
3. 授業づくりと教材研究について	児童のとらえ方、学習指導案の形式、指導上の手立ての発想																															
4. 演習① 教材研究	物語文教材の研究、教材理解と分析																															
5. 演習② 教材研究	説明文教材の研究、教材理解と分析																															
6. 演習③ 授業設計	板書計画、発問・助言・指示、作業の設定などの検討																															
7. 演習④ 授業設計	指導案・細案・掲示物・配布物・評価などの検討																															
8. 演習⑤ 模擬授業	模擬授業と検討会																															
9. 授業評価	授業の分析方法と活動の設定																															
10. 演習⑥ 模擬授業	模擬授業と討議会																															
11. 「実践アクセス講義」(ゲスト・ティーチャー) 現職の先生による講義「学習集団の形成について」																																
12. 演習⑦ 模擬授業	模擬授業と討議会																															
13. 演習⑧ 模擬授業	模擬授業と討議会																															
14. 演習⑨ 模擬授業	模擬授業と討議会																															
15. まとめ	作成した資料を振り返って																															
※ 指導者からの講義の時間と学生による演習の時間を有機的に組み合わせる。 ※ 自ら考えたり行動を起こしたりすることが第一の条件である。 ※ さまざまな場に於いて、能動的な積極的参加が必要である。																																